



学校訪問を終えて

本年度5月から、玉名管内全ての小・中学校を学校訪問させていただきました。

早朝より、子供たちの安全を見守っていただいている地域の方々。元気に運動場で遊ぶ子供たち。真剣な眼差しで授業に取り組んでいる子供たち。季節の花が咲きほこる花壇。子供たちと真剣に向き合う先生方。校長先生のグランドデザインのもと、学校一体となって教育活動を進めていただいている様子をたくさん見ることができました。

子供たちが元気に登校し、先生方と一日を過ごし、笑顔で帰って行く。そのような日常の学校や地域の中に、子供たちや先生方、地域の方々の素晴らしさや良さがたくさん隠れていると改めて感じました。しかし、その日常は当たり前のことでないこともわかっています。学校に関わっていただいている多くの方々の日々のご努力とご支援のおかげだと思っております。

次年度も、玉名教育事務所管内の素晴らしさや良さに出会う学校訪問になるよう、市町教育委員会と連携を図り学校を支援していきたいと思います。



本年度の研修を振り返って

玉名教育事務所では、「誰一人取り残さない学びの保障」と「教員一人一人の『子供を学びの主体』とする授業力の向上」を目指し、様々な研修等を行ってきました。各学校においては研修に参加された先生方からの学びを共有し合い、学校経営などに活かしていただいていることに感謝申し上げます。特に、授業改善につきましては、校長先生のリーダーシップのもと、子供たちの学力向上のために日々ご尽力いただき本当にありがとうございました。

【授業改善について】

①「導入の工夫」～素材の精選～

どんな言葉を投げかければ、目の前の子供たちが「わくわく」するだろうか。「考えてみたい」「解いてみたい」と思うだろうか。

②「展開の工夫」～時間の確保～

どんな言葉かけをすれば、子供たちが主体的に学び合うだろうか。子供たちが学びを深める時間は確保できているだろうか。

③「まとめ」「振り返り」の工夫

どのようにして定着の時間を設ければ、子供たちが「分かった」「できた」と実感し、次時への意欲につながられるだろうか。

また、確実な定着に向けて、どのようなICTの活用方法があるだろうか。



残り2か月余りとなり、学年のまとめの時期に入りました。子供たちを誰一人取り残さないため、授業中に「分かった」「できた」という瞬間、まさに子供の瞳輝く瞬間を見届けていただきたいと思います。また、今年度の玉名教育事務所の研修では小中連携の重要性も改めて感じられたところです。

次年度も、更なる教育活動の充実のために研修を行っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。